

『立教史学 第二号』は、その直接出版費の一部として「2010年度立教大学大学院教育研究補助費」の交付を受けて 刊行されたものであります。

#### 『立教史学』投稿規程

次の要領にて会員諸氏の原稿を募集しています。

1. 投稿は立教大学史学会会員および会員推薦者とする。
2. 種類と枚数(四〇〇字換算、図・表・注を含む)
  - 研究論文……………七〇枚程度を上限とする
  - 研究ノート……………三〇枚程度を上限とする。
  - 学界動向・書評・史料紹介……………二〇枚程度を上限とする
3. ワープロ原稿で、原稿は四〇〇字×三〇行、縦書きで打ち出してください。なお、注は本文末にまとめてください。
4. 原稿は事務局宛に添付ファイル形式でご送付下さい。
5. 原稿の採否は、編集委員会の責任において審査ののちに通知します。
6. 研究論文・研究ノート・史(資)料紹介・書評の執筆者には原稿掲載号二部と抜刷二〇部を進呈します。
7. 掲載論文の転載は、原則として掲載後一年間は見合わせて下さい。

以上

## 立教史学 第二号

2010年12月8日発行

編集兼発行 立教大学大学院文学研究科史学研究室  
東京都豊島区西池袋3-34-1  
立教大学6号館人文科学系事務室気付  
電話 03(3985)2479  
e-mail: rikkyo.nihonshi@hotmail.co.jp  
印刷所 太陽印刷工業株式会社  
東京都新宿区市谷台町22-1  
電話 03(3353)1711

ISSN 2185-193X

#### 編集後記

『立教史学』第二号をお届けいたします。  
立教大学大学院文学研究科史学研究室では、これまで大学院生を中心として、日本史研究会、東洋史研究会、西洋史研究会の三研究会を設立し、『立教日本史論集』、『立教東洋史論集』、『立教西洋史論集』を刊行し、数多くの論考を積み上げて参りました。  
そして二〇〇九年より、これらの蓄積に立つて、より広領域かつ創意に満ちた歴史研究を展開するため、前記三論集を発展的に解消させ、新たに『立教史学』を創刊いたしました。  
ご高覧頂ければ幸いに存じます。

(公)